

# 心の宝

令和3年夏号

清純な心、  
信頼、信仰

花言葉

スイレン  
(和名・睡蓮)



宗華法本顯

# 盆棚（精霊棚）の飾り方

お盆期間中は、普段にも増してご先祖様や新盆の霊位に感謝の気持ちを捧げるために、お仏壇の前に盆棚（あるいは精霊棚）という特別な祭壇をおつくりする地域があります。左のイラストを参考に、各ご家庭にてできる限りのお飾りを行ってみてください。

※お盆のご供養や風習は地域によって異なりますので、詳細は菩提寺にお尋ねください。



- 盆棚の飾り方の例**
- ① ほうすき・笹竹
  - ② だんご・そうめん
  - ③ 水の子（なすの賽の目）
  - ④ 蓮の葉に水
  - ⑤ きゅうりの馬
  - ⑥ なすの牛
  - ⑦ みそはぎ
  - ⑧ まいも・ごぼう

## 信徒の心得

- 一、私たちの宗旨は顕本法華宗です
- 一、顕本法華宗の総本山は京都の妙満寺です
- 一、私たちは日蓮大聖人が定められた大曼荼羅を御本尊として篤く仏・法・僧の三宝さまに帰依します
- 一、私たちは妙法蓮華経と日蓮大聖人の御書を教えの拠り所とします
- 一、私たちはお釈迦さまを教主と仰ぎ日蓮大聖人を宗祖日什大正師を開祖として経巻相承を宗是とします
- 一、私たちはお釈迦さまの大慈大悲を信じて努めて菩薩の行を実践します

### 目次

宗務総長再任のご挨拶	2
新内局紹介	3
宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年 慶讃大法要（春季報恩大法要）	4
聖訓カレンダー	10
檀信徒のひろば	13
おつとめのお経一語一話	14
住職からのまごころ一品	16
まちがい絵さがし	18
こちら編集局	20
読者のコラム	21
宗門だより	22
本山だより	23
暑中見舞い	24



# 宗務総長再任のご挨拶

顕本法華宗 宗務総長 河野 時巧

第76定期宗会に於いて任期満了・改選により、引き続き宗務総長の要職に選任いただきました。宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年の聖年に再び宗門行政を担うこととなり、その任の重さに、身の引き締まる思いであります。

さて、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々、およびご家族・関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、各地で懸命に医療行為などに従事されている方々をはじめ、感染拡大防止に日々ご尽力されている皆様改めて敬意を表し、深く感謝申し上げます。

日蓮大聖人『上野殿御返事』の一節に「そもそも昨今、法華経を信じる人のなかには、火のごとく信じる人がいる。または、水のごとく信じる人もいる。教えを聞いたときは燃え立つように信仰するが、時が経つと熱が冷め、その気持ちを捨て去ってしまう。一方で、水のごとき信仰というのは、いつも退くことなく信じ続けることである。貴殿は、いかなる時も、常に退くことなく水が流れるのごとく信じておられる。尊いことである」とあります。

コロナ禍の中ではありますが、私たちはお題目をお唱えし、退転することなく、我が顕本法華宗の「経巻相承・直受法水」の宗是を再確認し、正しい教えを心に、正しい道を大河の流れのごとく、途切れることなく歩んでいきたいと思います。

南無妙法蓮華經



宗務総長  
河野 時巧  
昭和22年生まれ。  
千葉県山武郡九十九里町、第5教区妙覚寺住職。

## 新内局紹介

令和3年3月に開催された、第76定期宗会において新宗務院内局が発足しました。就任の内局各部長・主事のお上人方を紹介いたします。



宗務次長  
小松 正学  
昭和42年生まれ。  
千葉県印旛郡酒々井町、第2教区経胤寺、要行寺住職。



布教部長  
小川 正展  
昭和48年生まれ。千葉県東金市、第5教区願成就寺、寿福寺、本成寺、本妙寺、第1教区宝蔵寺住職。



庶務部長  
金坂 正道  
昭和47年生まれ。  
千葉県東金市、第5教区法華寺、本因寺住職。



財務部長  
吉田 諦規  
昭和42年生まれ。  
愛知県豊橋市、第6教区妙円寺、本常寺住職。



教務部長  
朝倉 俊泰  
昭和51年生まれ。  
千葉市、第3教区本行寺、第4教区覚行寺住職。



社会部長  
森田 修應  
昭和35年生まれ。  
福井市、第6教区本行寺、第8教区法泉寺住職。



宗務主事  
阿曾 成悠  
昭和63年生まれ。  
第5教区千葉県東金市、延命寺住職。



川崎 英尚  
昭和54年生まれ。第4教区千葉県長生郡白子町、本盛寺住職。



因幡 泰善  
昭和53年生まれ。  
第2教区千葉市、正福寺住職。



多門 正崇  
平成2年生まれ。第3教区千葉県木更津市、本永寺住職。

宗務主事



# 宗祖日蓮大聖人 御降誕八〇〇年 慶讃大法要(春季報恩大法要)

照らされて

導かれて

～大聖人の恩徳に感謝し  
お題目の信仰に  
生きる喜びを伝えよう～

5月22日(土)・23日(日)の両日にわたり、京都の総本山妙満寺において、宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃大法要と令和3年度春季報恩大法要が奉修されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、恒例の全国檀信徒の団体参拝や全国僧員の出仕等は縮小されましたが、インターネットによるリアルタイム動画配信(リモート参拝)を活用し、大川日仰猊下大導師のもと、河野時巧宗務総長、吉永義康本山総務、近末寺院僧員出仕により、50年に一度の慶事が厳粛に執り行われました。



宗祖御降誕八〇〇年  
にあたり建立された  
角塔婆



- 令和3年 5月22日(土)
- 10時30分 **記念講演**  
中尾 堯 立正大学名誉教授
  - 11時00分 **慶讃大法要 第一座**  
宗祖御真蹟御本尊開眼法要
  - 13時30分 **法 話**  
特命布教師 吉本乗明師
  - 14時00分 **慶讃大法要 第二座**  
歴代・本宗僧員年回法要

- 令和3年 5月23日(日)
- 10時30分 **法 話**  
特命布教師 桑村信慶師
  - 11時00分 **慶讃大法要 第三座**  
祠堂・納骨法要
  - 13時30分 **法 話**  
特命布教師 吉本栄利師
  - 14時00分 **慶讃大法要 第四座**  
大施餓鬼法要





全国の檀信徒に向け、御親教をされる大川猥下



仏舎利塔前での報恩法要



前日までの雨も上がり、爽やかな晴天のもと厳修された法要

感謝状授与



「天目授与御本尊」修復に多大な寄進をされた、別格山天妙国寺住職 藤崎行学師



御本尊修復施工に尽力された、藤岡光影堂（京都市北区）藤岡春樹氏



式衆装束新調に尽力された、横庄法衣店（京都市下京区）横村隆一氏



各座ご宝前に於いて慶讃文が読まれました。



御本尊開眼法要をされる大川猥下



御本尊修復にあたり複製も新調され、複製は別格山天妙国寺に奉安されました。桐箱揮毫：大川猥下

「宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年」の慶讃事業の一環として、総本山妙満寺所蔵の日蓮大聖人御真蹟「\*天目授与御本尊」が、別格山天妙国寺（東京都品川区、貫主・河野時巧師、住職・藤崎行学師）の寄進により、約半年間の大がかりな修復施工を経て総本山に奉安され、第一座に於いて大川日仰猥下により開眼法要が厳修されました。

\*文永11年（1274）に高弟天目上人に授与された御本尊で、明治8年の身延山の大火により焼失した「佐渡始頭大曼荼羅」と同じく、絹地に顕された大変貴重な御本尊。縦285cm、幅124cm（表装を含む）



# 記念講演

総本山妙満寺の至宝  
日蓮大聖人御真蹟天目上人授与の  
大曼荼羅本尊の礼賛  
（令和修理とその意義）



記念公演をされる中尾堯氏

中尾 堯 (なかお たかし)

昭和6年生まれ。立正大学名誉教授。仏教古文学の観点からの日蓮大聖人ご遺文や曼荼羅本尊などを研究。『ご真蹟にふれる』『名句で読む立正安国論30章句』等、著書多数



今年の春季報恩大法要は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定されていた団体参拝やイベント等が中止となり、静かな法要となりましたが、参詣者からは「本山の感染予防処置が徹底されていたので、安心して参拝することができました」「50年に一度の慶事にめぐり合えて本当に良かったです」などの声がありました。  
また、出仕の僧員からは「大勢の参詣者と共に本堂にて法要が厳修できなかつたことは残念でしたが、リモート参拝等新しい取り組みができ、今後の布教にも生かせるので、意義ある大法要であったと思います」と前向きな言葉を聞くことができました。



# 法話

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年をお迎えして



特命布教師 吉本乗明師 (広島 蓮華寺住職)



特命布教師 桑村信慶師 (京都 法光寺住職)



特命布教師 吉本榮禪師 (茨城 長照寺住職)



四座を終え、宗門を代表して参詣者に御礼の言葉を述べられる、奉行委員会委員長・河野時巧宗務総長

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃大法要

動画配信しています。

当日の各座法要・法話の映像は、下記QRコードより視聴できます。また、総本山妙満寺ホームページからも視聴することができます。



1日目 (5月22日)  
第一座/第二座



2日目 (5月23日)  
第三座/第四座

映像が表示されない場合は、Youtube 総本山妙満寺公式チャンネルからご視聴ください。

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年  
慶讃事業寄付者ご芳名

令和2年1月1日〜12月末日にご寄付  
いただいた方のご芳名です。

100  
万円

福島 妙法寺護持会

# 七月

法華經を持つ者は  
必ず成佛し候

種種御振舞御書

建治元年（二二七五）大聖人五十四歳

この御遺文は日蓮大聖人が身延山に入山された翌年に書かれたものとされ、文永5年正月の蒙古国書の到来と、その9年前の『立正安国論』に予言した他国侵逼難の的の中から筆を起こされ、竜口法難、佐渡流罪の経緯、佐渡での出来事、自界叛逆難の的の中、佐渡赦免後幕府への三度目の諫暁、そして身延隠棲・懺悔滅罪の内

省生活に至る経過を詳細に述べられた自叙伝的な著述です。この一節は、末法の時代は仏法や道徳などが蔑ろにされてしまふ時代であるから、積尊の真実の法である法華經を持つ人は嫉まれたり法難に遭うことは經典に示されており、唯一成仏の法である証でもあり、また自身の罪障も消滅させてくれると述べられます。

法華經を信仰すると困難があるかもしれませんが。しかし積尊とのご契約により諸天善神は必ず守護してくださいます。また、困難を「魂を磨く（成仏の）修行をさせていただいているんだ、罪障が消滅する、ああ有難い」と思えるようになる功德があります。有難いことです。久遠実成の積尊を信じお題目を唱え信仰を深めていきましよう。

# 八月

過去の因を知らんと欲せば  
其の現在の果を見よ

開目抄

文永九年（二二七二）大聖人五十一歳

この『開目抄』は佐渡流罪の最初の地、塚原三昧堂で著述され、日蓮大聖人がご自身の遺言とまでいわれた重要な御遺文です。塚原三昧堂は荒野の死体置き場にある粗末なお堂で、食料や着るものもなく、雨雪が吹き込み糞を着て過ごさなければいけないような大変な所で、その中でこれだけの大論文を著されたのです。

弘めると何故法難に遭うのか経文を引いて説明され、釈尊のご在世でも難があつたのだから末法の濁悪世の時代ではなおさらであると考えられます。また心地観經というお経に『過去世にどのような善因・悪因を積んだかを知ろうと思えば、現在どのような結果となつて現われているかを見なさい。来世に善い果が現われるか悪い果が現われるかを知ろうと思えば、現

世で善因を行なっているか悪因を行なっているかを考えなさい』とあると説明され、自身が竜口で首を切られそうになったり流罪にありわたしたことも経文の通りであり法華經の行者の証明でもあると説かれます。そして法華經を信受することで困難があつても善行（成仏へ）の修行をさせてもらっていると見えようになるとされます。



京都府舞鶴市

## 法光寺

(住職 桑村信慶 師)

総代 橋本 巖氏



法光寺ではコロナ禍ということもあり、遠方の檀信徒には試験的にお彼岸法要をインターネットのZOOMを使ってお参りいただき、ライブ配信で法話と彼岸法要を厳修しました。ZOOM参加者には、遠くは東京や奈良の方もおられました。初めての試みでしたが、後日檀信徒からの感想では「お参りできて良かった」とのお言葉もあり、大変有難かったです。本堂で多くの檀信徒が一同に集い、厳粛に執り行う法要が本来の姿ではありませんが、コロナ禍でのマイナスをプラスに変えていくために、檀信徒と協力しながら試行錯誤しています。



檀信徒による清掃奉仕



法要後の演奏会

# 檀信徒のひろば

～私たちの菩提寺～

このコーナーでは、各寺院で行っている特色のある法要や、催し物、檀信徒の旅行会や、青年会等の取り組みなどを紹介します。

# 九月

濁水心なれども  
月を得て自ずから清めり

四信五品鈔

建治三年（一二七七） 大聖人五十六歳

この御遺文は、鎌倉武士で後に出家し中山門流の祖となった富木常忍（日常）に対する返書です。内容は、「観念の修行をするには心暗く、読誦するには多忙過ぎます。また戒律を守れない不浄な身。このようなものでも理を得ることができませんでしょうか？」との問いに対し法華経分別功德品の四信五品を引いて返答されています。法華経修行の四信五品で一

番大切なのは一番初歩の位の一念信解・初随喜品（法華経寿量品の積尊の寿命が無量であること）を聞いて感激し信心を起こすことであると述べられます。そしてお題目を唱えることが肝要で、例えば日本という言葉の中にそこに住む人間や家畜もすべてが含まれるように妙法蓮華経の五字には法華経の法門、積尊の功德がすべて込められています。そして

て末代の凡夫でもお題目を唱えることによって、濁った水も月を浮かべておのずと澄んでくるように、草木も雨にあつて花を咲かせるように、意味は理解できずとも法華一經の真意を体得していくことができるでしょうと述べられます。この様なご教示もありますので、私たちも久遠実成の積尊を信じお題目を唱え、信心を深めていきましよう。



# おつとめのお経 一語一話

## 第十回

お経の中には、たくさんの言葉が出てきます。  
このコーナーでは、毎回ひとつの言葉にスポットを当てて解説いたします。

### 「方便」ほうべん

**よ** ちよちと歩き始めたばかりの我が子を亡くしたキサーゴータミーという女性がいました。子どもはすでに冷たくなりもう動きません。しかし女性は深い深い悲しみから子どもは病気なんだと思ひ込み、治す薬を求めてさまよいます。ある人が見るに見かねて「祇園精舎ぎおんしやうにいるお釈迦さまなら治せるかもしれない」

と言いました。女性はすぐにお釈迦さまのところに向かいます。お釈迦さまはその女性に対して、「今まで死者を出したことはない家から芥子けしの種をもらえたら、その子が生き返る薬をあげよう」と言われました。我が子を生き返らせたくて家々を訪ねますが、死者を出していない家は一軒ありませんでした。「人には必ず死が訪

れる」ということに改めて気付かされた女性は、心の救いを求めて仏道に入ったそうです。

さて、皆様。お釈迦さまの女性に対するたとえ「芥子の種を探せ」は嘘でしょうか？ お釈迦さまは辛いことではありませんが、あえて芥子の種を探しに行かせることによって、我が子を失った母親に気付きを与え、凍った心を溶かされたのです。この物語のお釈迦さまの方便は厳しいようですが、慈悲あふれる行いであるのです。

伝えたかったお話が法華経なのです。そして、お釈迦さまの悟りはただ一つであり、永遠の存在であり、その永遠の言葉をまっすぐに素直な心で信じ、法華経とお題目を唱えるよう説かれたのが、日蓮大聖人なのです。これからお盆を迎えます。コロナ禍ではありますが、そのような中でもいろんな学びいろんな気付きがあると思います。その気付きの中で仏様やご先祖さまに手を合わせて、感謝の気持ちをお参りに込めてくださいますようお願いいたします。

(成洋)

**現** 在一般的に使われている「方便」は「嘘も方便」(嘘も目的によっては許される)だと思います。

仏教では、サンスクリット語 upaya ウパーヤが「方便」のことで「目的に近づく」という意味です。

お釈迦さまが、いろいろな因縁の話やたとえ話を使って分かりやすく教えを説かれ、話を聞く者が、人生の迷いから離れられるように工夫して説いてこられたのが「方便」であり、本当に







### 麺つゆかき氷

薄めめんつゆを凍らせ家庭用かき氷機で削り、あんかけソーメンの上のせます。より一層ひんやりとし美味しくなります。



### 住職さんのメモ

しょうがの代わりに、お好みでワサビや柚子胡椒を使用する場合は、めんつゆがあんかけ状態の時によくかき混ぜ入れて下さい



1

野菜は1cm角にカット、キュウリとナスは軽く塩揉みし洗い流します。



2

めんつゆを温め水溶き片栗粉を加えとろみをつけ、粗熱を取り冷蔵庫で冷やします。

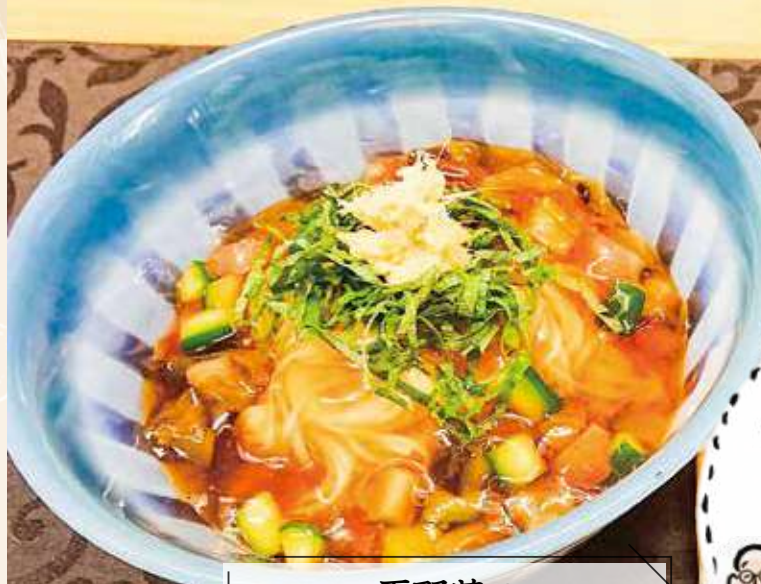
3

冷やしたあんかけめんつゆに野菜を入れ混ぜます。

冷やし固まりすぎた場合、湯煎で適度なとろみにします。

4

ソーメンにあんかけをかけ、刻んだ大葉おろししょうがをのせます。



## 夏野菜の冷やしあんかけソーメン

材料 (約2人前)



- めんつゆ (希釈) 300cc
- ソーメン …………… 2束
- キュウリ …………… 1/2コ
- ナス (小) …………… 1コ
- トマト …………… 1/2コ
- 大葉 …………… 少々
- しょうが …………… 少々
- 水溶き片栗粉 …… 適量

### 付け合わせ 山芋とオクラの磯辺揚げ

- 山芋 …………… 1/4コ
- オクラ …………… 4本
- 海苔 …………… 適量
- 片栗粉 …………… 大さじ1



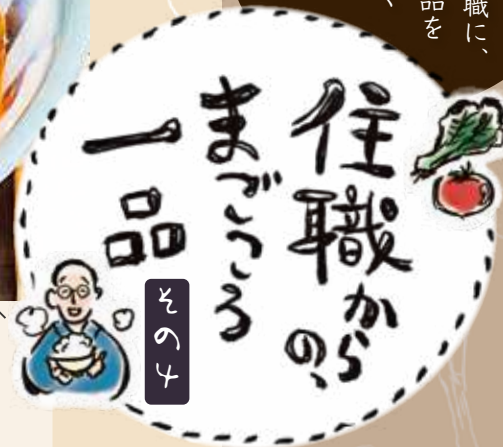
すりおろした山芋に刻んだオクラと片栗粉を入れて混ぜ、海苔で巻いた後、フライパンに油を入れて揚げ焼きにする。山芋とオクラの磯辺揚げは、ポン酢や醤油をつけてお好みで!



### 富田俊光師

1974年3月22日生、1992年新宿調理師専門学校入学、1993年ホテルグリーントワー幕張入社、1998年総本山妙満寺奉仕生、2011年～現在千葉県東金市滝清滝寺住職

毎日の食事の時には、必ず合掌して、一つひとつの食材の命に感謝し、そして携わった人々に感謝し、食前の食法をお唱えしてください。



元料理人のご住職に、心のもった一品を紹介していただくコーナーです。皆様もぜひ。

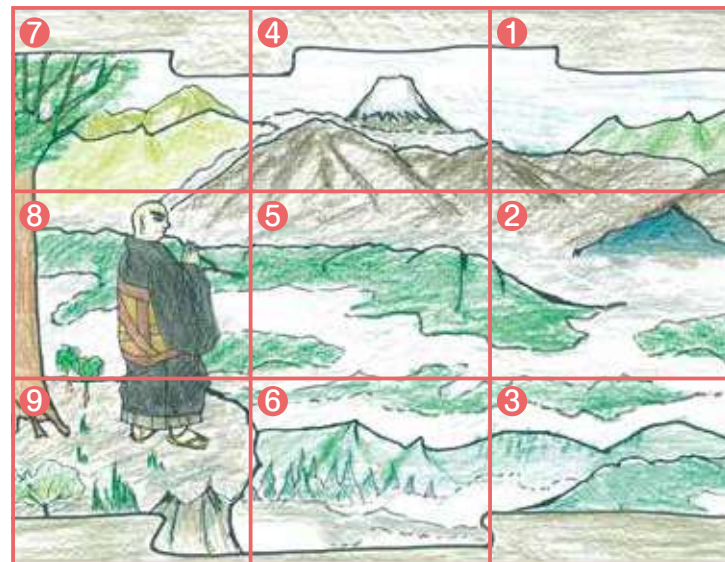
(食前の食法) 「天の三光に身を温め、地の五穀に魂を養う。皆これ本仏の慈悲なり。南無妙法蓮華経。いただきます。」 (天の三光：太陽、月、星。地の五穀：米、麦、粟、豆、黍などの穀物。)





上の絵と下の絵で違うところを5つあります。間違いを探して番号でお答えください。正解者には、抽選で粗品をさしあげます。ぜひ、ご応募ください。

宗祖日蓮大聖人のご生涯 第11回  
【身延での生活】



絵：中村文治

日蓮大聖人は身延山に入られて、9年もの長い期間を、一度も山を下りずに過ごされました。今日まで伝わっている遺文の中の半分以上は身延山で著されたものです。

その中の一つ『報恩抄』は、出家得度の師である道善房に宛てて送られたものですが、親や師の恩に報いるということを冒頭で言われて「報恩」こそが倫理であるとし、「日蓮が南無妙法蓮華経を生涯かけて弘め、全ての人を仏の道に導こうとした功德は、ひとえに師匠道善房の精霊に回向されるである」と述べられました。

身延山は冬になれば凍てつくような寒さになりますが、時には100人以上の弟子があり、大聖人はその中で多くの教えを説かれました。現在まで120幅ほど伝わる大曼荼羅御本尊

の多くをこの地で顕されています。

また身延山におられた時に、「熱原法難」が起こります。駿河熱原・滝泉寺住職行智は、あの竜口法難の原因を作った平左衛門頼綱の一族とも伝えられておりますが、その行智が大聖人の弟子の僧俗をあの手この手でおとしめ、そのため、熱原神四郎をはじめ二十余人が斬首や禁獄等に処された法難です。南無妙法蓮華経と声高らかに唱題の中、落命した神四郎らに対して、大聖人は「如説修行の行者」と称賛されました。また行智は、この法難後一年以上にわたり法華信者に対して弾圧を加えていましたが、大聖人の檀越南条時光は、これらの信徒をかくまい保護しました。このため時光は大聖人に、「上野賢人」と称えられるのでした。

八ガキに答えと、住所、氏名、年齢、菩提寺名、『心の宝』への感想を記入の上、下記あて先までご応募ください。

締め切り：8月末日（消印有効）

〒700-0818 岡山市北区蕃山町 3-5 本行寺内

『心の宝』まちがい絵さがし係

■令和3年春号 まちがい絵さがし正解 ②、③、④、⑥、⑧

■当選者

笠井康子様（千葉県山武市）、喜多村幸子様（千葉市美浜区）、地曳正也様（東京都品川区）、中原佳代様（大阪市旭区）、山本敏子様（岡山県美作市）



## 読者のコラム

この春、ゴルフのマスターズという世界の大舞台の大会で、**松山英樹**さんが日本人として初のメジャー制覇で見事優勝し、私たちの心をときめかせてくれました。実況するアナウンサーも解説の方も声を詰まらせるというより、もう感動し泣いていましたね。小生もひと昔前は、草野球の試合ともなると、心ときめき、前日はなかなか眠れず、当日朝5時にもなればソワソワしていた「あの頃」を思い出します。それなりに年を重ねてきた今は、趣味のゴルフに臨む時、草野球の時のように前日眠れないというごときもないのですが、朝4時頃から目を覚まして、心ときめきソワソワしてしまいます。この心の様子は、子どもの頃の運動会や遠足を控えた時のワクワク感とでもいいでしょうか…いつまでも「ときめく」心を持って

いるということは、若くいるための1つの要素ではないかと思っております。さて、松山さんのキャディーを務めた**早藤将太**さんが、最終ホールを終えた後に帽子を取り、コースに向かって頭を下げた行動にも世界が感動しました。スポーツでは、試合後に応援席に向かって感謝のお辞儀をすることはあります。ゴルフの優勝インタビューにおいても、大会のスタッフやコースを綺麗に維持してくれた方々に対してお礼を言います。しかし、キャディーのお辞儀は今までに無いことであり、日本人としての感謝の美德が現れたのだと私は感じました。さて、これから夏のお盆を迎えます。ご先祖様から繋いでいただいた今ある命に感謝し、お墓参りをする姿も、大切な日本人としての美德ではないかと思う今日この頃です。

(投稿者：ペンネーム 九十九里ナンバーを作ろう！様)

## こちら編集局

## ～『心の宝』への感想・おたより紹介コーナー～

皆様からのご意見、お手紙等多数いただき、誠にありがとうございます。今後も編集局員一同、読みやすい誌面を目指し努力して参ります。

コロナ禍の期間が長くなって、対人関係がむずかしい時があります。春号表紙レンゲソウ(花言葉 あなたと一緒になら心がやわらく)を辞書でみると「はすの花の形をした仏像の台座」とありました。なるほど！  
東京都世田谷区・西村小夜子さん

義父宛にいつも『心の宝』をいただいていたのですが、私が楽しく読ませてもらっています。普段の心の在り方を見直す機会になっております。

東京都荒川区・奥村梢さん

「住職からのまごころ一品」富田俊光師が隣の市にいらっしゃるといことで興味を持ちました。春野菜のコンソメゼリー寄せ、美味しかったです。  
千葉県大網白里市・佐久間健仁さん

春号・吉本乗明住職の「私の歳になるとわかる」…は、わかる方の年になってしまったと感じ入っています。

広島市安佐北区・種村明雄さん

令和3年夏号より新しい編集局となりました。読者の皆様には、顕本法華宗の信仰を深めていただけるような誌面づくりを、編集局員一同心掛けて参りますので、今後とも宜しくお願いたします。

- 局長…秋山事遷 (岡山県・本行寺住職)
- 主任…大川孝瑛 (京都府・寂光寺内)
- 会計…白井鍛光 (石川県・本成寺住職)
- 局員…児玉常陽 (福井県・妙正寺住職)
- 局員…中村文治 (兵庫県・向乗寺住職)
- 局員…中村昌芳 (兵庫県・妙立寺内)



前列左から、白井会計、秋山局長、大川主任  
後列左から、児玉局員、中村(文)局員、中村(昌)局員



研究発表例会

2月19日、教学研究所有主催(所長 窪田哲正師)の「公開研究例会」が、インターネットを利用したZOOMにて開催され、吉田英心師(千葉県市原市・寿福寺内)、吉本栄昶師(茨城県神栖市・長照寺住職)より研究発表がありました。また先頃、宗祖御降誕八〇〇年記念として出版された『顕本宗学論集』(慶讃事業奉行委員会)の執筆報告があり、津村信裕師(東京都世田谷区・常福寺内)、河野巧禅師(千葉県山武郡九十九里町・



小松正学師(千葉県印旛郡酒々井町・経胤寺住職)より、執筆の経緯や研究報告がありました。

第五教区

本松寺法灯継承式

4月17日、松岸山本松寺(千葉県東金市松之郷)で、入退山法灯継承式が行われ、前住職市川英淳師より日暮義隆師へと法灯が継承されました。また、長國山南高福寺

(東金市求名)・群名山北高福寺(東金市求名)・寶樹山東漸寺(東金市三ヶ尻)・妙高山円蔵寺(東金市酒蔵)の法灯も継承され、宗務総長、第五教区僧員、乗師寮寮長、各寺院総代が参集されました。本松寺は上総十カ寺のひとつであり、日暮義隆師は第41世となります。



わげんあいご  
**和顔愛語**

京都府 M.O さん(中2)「中学校の漫画研究会で、全国大会に向けて頑張っています。好きな漫画は、ジョジョの奇妙な冒険です」

**応募要項**  
官製はがきまたは封筒に住所・氏名・年齢・菩提寺名(匿名で掲載希望の方は、その旨お書きください)を記入の上、〒700-0818 岡山市北区蕃山町3-5 本行寺内『心の宝』編集部までご応募ください。  
※写真のみ掲載後お返し致します。

**第3回〆切り8月末日**

本山だより

第630回 御開山会

2月28日、大川日仰猯下大導師のもと、第630回日什大正師ご命日報恩法要「御開山会」ならびに「釈尊御涅槃会」「宗祖日蓮大聖人御降誕会」を厳修しました。

全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、京都府下でも緊急事態宣言が延長され、僧員および檀信徒の参詣は中止されましたが、総本山妙満寺が、「什祖誕滅の霊場」別格山妙法寺(福島県会津若松市)や、「什祖



直建」の由緒寺院・本立寺(千葉県木更津市)をはじめとする全国末寺に呼びかけ同時刻一斉法要を奉行いたしました。また、本山では初めての試みとして、当日の法要の様子がWeb上でリアルタイム動画配信されました。

春季彼岸会・花まつり(釈尊降誕会)

3月20日、大川日仰猯下大導師のもと春季彼岸中日法要が奉行されました。法要に先立ち、満山会(会長 正行院・長瀬國男氏)の総会を開催、昨年の活動・決算報告、次年度計画・予算案が提案通りに承認されました。



また、4月4日には、大川猯下大導師のもと花まつり法要(釈尊降誕会)



花まつり恒例の満山会主催「観桜会」は、昨年到现在に続いて残念ながら中止となりました。

令和3年  
本山行事

- ▶ 1/1(金・祝)  
新歳国禱会
- ▶ 2/28(日)  
御開山会  
釈尊涅槃会  
宗祖降誕会
- ▶ 3/20(土・祝)  
春季彼岸会
- ▶ 4/3(土)  
花まつり
- ▶ 5/22(土)・23(日)  
宗祖日蓮大聖人  
御降誕八〇〇年  
慶讃大法要
- ▶ **8/7(土)**  
**孟蘭盆施餓鬼会**
- ▶ 9/23(木・祝)  
秋季彼岸会  
敬老会
- ▶ 10/12(火)・13(水)  
宗祖日蓮大聖人  
御会式
- ▶ 12/5(日)  
釈尊成道会・  
大根だき
- ▶ 12/31(金)  
除夜の鐘

うらぼんせがきえ  
**孟蘭盆施餓鬼会**

**8月7日**(土) 11:00 ~ 大導師 大川日仰猗下

孟蘭盆会とは、餓鬼道に堕ちて苦しむ母親を、布施の善行を積んで救った目連尊者の故事にならう行事です。

現在では、この時季に家族そろって菩提寺で営まれる施餓鬼会に出席し、またお墓参りをして、ご先祖の精霊や私たちの命を支える有縁無縁の精霊に感謝の気持ちを表します。多くの生命によって「生かされている」ことのありがたさを感じ、日ごろの驕りを反省し、布施行の大切さを理解し実践してまいりましょう。

本山においても、皆様のご参詣を心よりお待ち申し上げております。



©水野克比古

日什大正師留魂の根本道場

けんぼんほつ けしゅう そうほんざんみょうまんじ  
**顕本法華宗 総本山妙満寺**

〒 606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町 91

TEL 075-791-7171 FAX 075-791-7267

郵便振替 01060-8-5040 (口座名「妙満寺」)

HP <http://myomanji.jp/>



季刊『心の宝』第 126 号 (令和 3 年夏号)

発行所 **顕本法華宗宗務院**

〒 606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町 91 総本山妙満寺内

TEL 075(791)7171 FAX 075(791)7267 HP <http://www.kenpon.jp/>

発行日 令和 3 年 6 月 20 日

菩提寺